

“見 る” ことの実感

一日中降り続いた雨が止み、よく晴れた翌日の朝。

保育室から外を眺めると、陽を浴びた木々の先から水蒸気が上がっているのを見つけました。

近くにいた保育者に「ほら、見て！」と声を掛けると、

「こんなふうに水蒸気がいっぱいになったのが “霧 (きり)” になるのね・・・」 と 気づき、二人して 「今さらね。」 と笑いつつ、とても “わくわく” していました。

・・・何となく知っていたことも、自分の目で見ることによって 「こういうことなんだ！」 と、実感できます。

子ども達にもいろいろなことに興味を感じ、 “わくわく” して欲しいです。

.....

間もなく年長児が卒園を迎えます。

巣立っていくことに寂しさを感じつつ、これからどんなふうに成長していくのか楽しみです。

みんなが胸をはって卒園してくれることを、心から願っています。

平成27年3月